

ひしのみだより

平成30年5月1日発行

発行責任者 千住由一朗

落ち着いた生活へ！

若葉が茂り、新緑が映える気持ちのよい季節になりました。園のこいのぼりもやわらかな陽射しを受けながら気持ちよさそうに泳いでいます。

新しいお友達を迎えて、もう2週間が過ぎようとしています。登園時、涙が出ていた新入園児も、先生やお友達に少しずつ慣れて明るい笑顔を見せてくれるようになってきました。進級児もひとつ大きくなった喜びを感じ、落ち着いた生活を過ごしています。

さわやかな風が吹く皐月、天気の良い日には外でたくさん体を動かして元気いっぱいに過ごしたいと思います。しかし、新しい環境への緊張感からそろそろ疲れが出る頃ではないかと思えます。体調管理にも配慮していきたいものです。



ひしのみ会(PTA)総会、保育参観有難うございました

4月25日(水)は、ひしのみ会の会員の皆様にお集まりいただき、平成29年度の業務・会計報告、そして平成30年度の計画を審議、承認していただきました。その中で、組織の行事活動グループについて、運動会から夏祭りに変更されました。

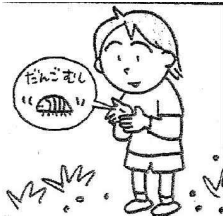
平成29年度の運営委員、クラス委員の皆様、本当にご苦労様でした。

本年度の運営委員、クラス役員の皆様、この1年間よろしくお願いいたします。子どもたちのよりよき成長のため、そして子どもたちの喜ぶ笑顔のため、ともに力を合わせていきましょ。

幼児期から育てていきたい資質・能力の3つの柱！

「資質・能力」は、小・中・高を通して伸びていくものです。幼児期は、その基礎を培います。幼児が身近な環境に主体的に関わり、環境との関わり方や意味に気づき、これらを取り込もうとして試行錯誤したり考えたりする、というプロセスを通して、子どもの中に育ちます。資質・能力の3つの柱は、以下のように定義づけられました。

「知識及び技能の基礎」



遊
び
や生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じたり、何に気づいたり、何がわかったり、何ができるようになるのか。

「思考力、判断力、表現力等の基礎」



遊
びや生活の中で、気づいたこと、できるようになったことを使いながら、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするか。

「学びに向かう力、人間性等」



心
情、意欲、態度が育つ中で、いかによりよい生活を営むか。